

三井住友・ グローバル好配当 株式オープン

【愛称:世界の豆の木】
【運用報告書(全体版)】

第36作成期 (2022年11月15日から2023年5月12日まで)

第 211 期 / 第 212 期 / 第 213 期
決算日2022年12月12日 決算日2023年1月12日 決算日2023年2月13日

第 214 期 / 第 215 期 / 第 216 期
決算日2023年3月13日 決算日2023年4月12日 決算日2023年5月12日

受益者の皆さまへ

平素は格別のお引立てに預かり、厚くお礼申し上げます。

当ファンドはマザーファンドへの投資を通じて、主として世界の主要国（除く日本）の上場株式に投資し、中長期的な信託財産の成長を目指して運用を行います。当作成期についても、運用方針に沿った運用を行いました。

今後ともご愛顧のほどお願い申し上げます。

■当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／海外／株式
信託期間	無期限（設定日：2005年5月31日）
運用方針	マザーファンドへの投資を通じて、主として世界の主要国（除く日本）の上場株式に投資し、中長期的な信託財産の成長を目指して運用を行います。
主要投資対象	当ファンドは以下のマザーファンドを主要投資対象とします。 グローバル好配当株式マザーファンド 世界の主要国の上場株式
当ファンドの運用方法	■主要国（除く日本）の好配当銘柄に分散投資を行い、配当収入等による安定収益に加え、中長期的な信託財産の成長を狙います。 ■外貨建資産については、原則として対円での為替ヘッジを行いません。
組入制限	当ファンド ■株式への実質投資割合には、制限を設けません。 ■外貨建資産への実質投資割合には、制限を設けません。 グローバル好配当株式マザーファンド ■株式への投資割合には、制限を設けません。 ■外貨建資産への投資割合には、制限を設けません。
分配方針	■毎月12日（休業日の場合は翌営業日）に決算を行い、分配を行います。 ■分配対象額の範囲は、経費控除後の、繰越分を含めた利子、配当収益と売買益（評価損益を含みます。）等の全額とします。 ■分配金額は、委託会社が基準価額水準等を勘案して決定します。 ※委託会社の判断により分配を行わない場合もあるため、将来の分配金の支払いおよびその金額について保証するものではありません。

三井住友DSアセットマネジメント

〒105-6426 東京都港区虎ノ門1-17-1
<https://www.smd-am.co.jp>

■口座残高など、お取引状況についてのお問い合わせ
お取引のある販売会社へお問い合わせください。

■当運用報告書についてのお問い合わせ

コールセンター 0120-88-2976
受付時間：午前9時～午後5時（土、日、祝・休日を除く）

三井住友・グローバル好配当株式オープン 【愛称：世界の豆の木】

原則として、各表の数量および金額の単位未満は切捨て、比率は四捨五入で表記しています。ただし、単位未満の数値については小数を表記する場合があります。

■ 最近30期の運用実績

決算期	基準価額			(参考指数) MSC I コクサイ高配当指数		株式組入 比率	投資信託 証券組入 比率	純資産 総額
	(分配落)	税込 分配金	期中 騰落率	(配当込み、 円換算ベース)	期中 騰落率			
	円	円	%		%	%	%	百万円
187期(2020年12月14日)	7,326	15	0.9	270.95	1.8	98.6	—	6,738
188期(2021年1月12日)	7,615	15	4.1	278.26	2.7	98.8	—	6,956
189期(2021年2月12日)	7,717	15	1.5	279.13	0.3	98.7	—	6,906
190期(2021年3月12日)	8,147	15	5.8	297.29	6.5	98.8	—	7,065
191期(2021年4月12日)	8,516	15	4.7	312.15	5.0	98.4	—	7,278
192期(2021年5月12日)	8,613	15	1.3	320.13	2.6	98.6	—	7,260
193期(2021年6月14日)	8,825	15	2.6	327.18	2.2	97.9	—	7,346
194期(2021年7月12日)	8,889	15	0.9	324.81	△ 0.7	98.2	—	7,338
195期(2021年8月12日)	9,173	15	3.4	330.40	1.7	99.1	—	7,523
196期(2021年9月13日)	9,018	15	△ 1.5	322.22	△ 2.5	98.4	—	7,327
197期(2021年10月12日)	9,089	15	1.0	327.31	1.6	98.1	—	7,317
198期(2021年11月12日)	9,662	15	6.5	340.92	4.2	98.0	—	7,657
199期(2021年12月13日)	9,688	15	0.4	337.88	△ 0.9	97.2	—	7,657
200期(2022年1月12日)	9,898	15	2.3	360.63	6.7	96.5	—	7,787
201期(2022年2月14日)	9,496	15	△ 3.9	354.14	△ 1.8	95.7	—	7,437
202期(2022年3月14日)	9,290	15	△ 2.0	345.38	△ 2.5	95.8	—	7,260
203期(2022年4月12日)	10,314	15	11.2	393.56	13.9	96.4	—	8,046
204期(2022年5月12日)	9,823	15	△ 4.6	381.42	△ 3.1	96.4	—	7,599
205期(2022年6月13日)	10,166	150	5.0	389.78	2.2	96.8	—	7,829
206期(2022年7月12日)	9,906	15	△ 2.4	387.93	△ 0.5	94.9	—	7,863
207期(2022年8月12日)	10,343	15	4.6	391.85	1.0	94.2	—	8,398
208期(2022年9月12日)	10,562	100	3.1	405.77	3.6	93.9	2.1	8,553
209期(2022年10月12日)	9,837	15	△ 6.7	376.63	△ 7.2	93.6	1.7	7,989
210期(2022年11月14日)	10,800	15	9.9	407.32	8.1	94.7	1.0	8,917
211期(2022年12月12日)	10,377	350	△ 0.7	409.55	0.5	94.1	0.9	8,536
212期(2023年1月12日)	10,363	15	0.0	403.24	△ 1.5	93.6	0.9	8,662
213期(2023年2月13日)	10,332	15	△ 0.2	396.42	△ 1.7	95.2	1.0	8,714
214期(2023年3月13日)	10,073	50	△ 2.0	388.18	△ 2.1	94.4	0.9	8,583
215期(2023年4月12日)	10,392	15	3.3	409.00	5.4	94.9	0.9	8,901
216期(2023年5月12日)	10,320	15	△ 0.5	405.02	△ 1.0	95.2	1.0	8,810

※基準価額の騰落率は分配金込み。

※当ファンドは親投資信託を組み入れますので、比率は実質比率を記載しています。

※株式組入比率には、新株予約権証券を含みます。

※参考指数は、当報告書作成時に知りえた情報をもとに当社が独自に計算し、2010年3月31日を100として、指数化しています。なお、基準価額の反映を考慮した日付の値を使用しています。

※指数の著作権、知的所有権、その他一切の権利は発行者、許諾者が有しています。これら発行者、許諾者は当ファンドの運営に何ら関与するものではなく、当ファンドの運用成果に対して一切の責任を負うものではありません。

※参考指数は市場の動きを示す目的で記載しており、当ファンドが当該参考指数を意識して運用しているわけではありません。

■ 当作成期中の基準価額と市況等の推移

決算期	年 月 日	基 準 価 額		(参 考 指 数) MSCIコクサイ高配当指数		株式組入 比 率	投資信託 証券組入 比 率
			騰 落 率	(配当込み、 円換算ベース)	騰 落 率		
第211期	(期 首) 2022年11月14日	円 10,800	% -		% -	% 94.7	% 1.0
	11月末	10,825	0.2	412.14	1.2	94.9	1.0
	(期 末) 2022年12月12日	10,727	△0.7	409.55	0.5	94.1	0.9
第212期	(期 首) 2022年12月12日	10,377	-	409.55	-	94.1	0.9
	12月末	10,096	△2.7	395.34	△3.5	93.7	0.9
	(期 末) 2023年1月12日	10,378	0.0	403.24	△1.5	93.6	0.9
第213期	(期 首) 2023年1月12日	10,363	-	403.24	-	93.6	0.9
	1月末	10,265	△0.9	395.21	△2.0	95.2	1.0
	(期 末) 2023年2月13日	10,347	△0.2	396.42	△1.7	95.2	1.0
第214期	(期 首) 2023年2月13日	10,332	-	396.42	-	95.2	1.0
	2月末	10,480	1.4	403.42	1.8	94.8	0.9
	(期 末) 2023年3月13日	10,123	△2.0	388.18	△2.1	94.4	0.9
第215期	(期 首) 2023年3月13日	10,073	-	388.18	-	94.4	0.9
	3月末	10,220	1.5	399.04	2.8	93.9	0.9
	(期 末) 2023年4月12日	10,407	3.3	409.00	5.4	94.9	0.9
第216期	(期 首) 2023年4月12日	10,392	-	409.00	-	94.9	0.9
	4月末	10,472	0.8	408.49	△0.1	95.0	0.9
	(期 末) 2023年5月12日	10,335	△0.5	405.02	△1.0	95.2	1.0

※期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比です。

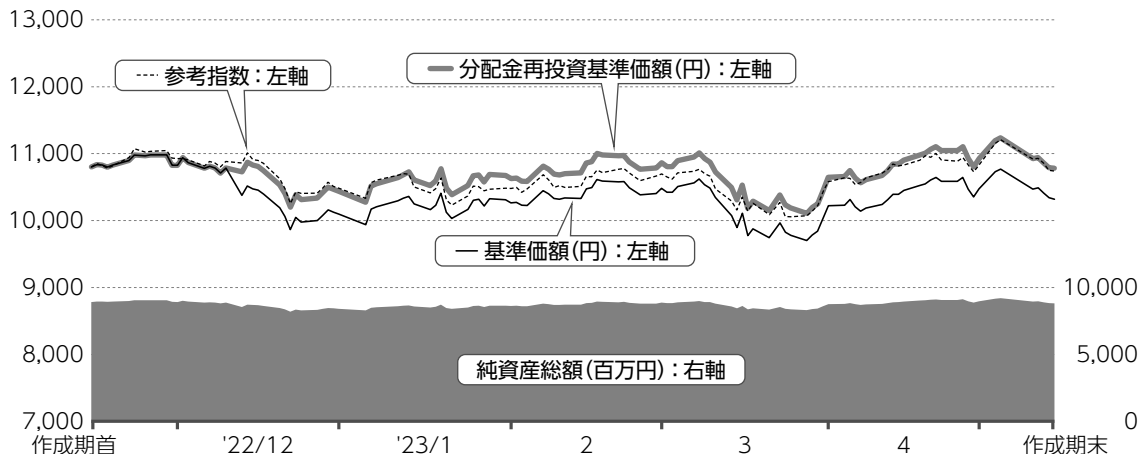
※当ファンドは親投資信託を組み入れますので、比率は実質比率を記載しています。

※株式組入比率には、新株予約権証券を含みます。

1 運用経過

基準価額等の推移について(2022年11月15日から2023年5月12日まで)

基準価額等の推移



※分配金再投資基準価額および参考指数は、作成期首の値が基準価額と同一となるように指数化しています。

作成期首	10,800円
作成期末	10,320円 (当作成期既払分配金460円(税引前))
騰落率	-0.2% (分配金再投資ベース)

分配金再投資基準価額について

分配金再投資基準価額は分配金(税引前)を分配時に再投資したと仮定して計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示します。

※分配金を再投資するかどうかについては、受益者の皆さまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額などによって課税条件も異なります。したがって、受益者の皆さまの損益の状況を示すものではありません。(以下、同じ)

※当ファンドの参考指数は、MSCIコクサイ高配当指数(配当込み、円換算ベース)です。

※指数の著作権、知的所有権、その他一切の権利は発行者、許諾者が有しています。これら発行者、許諾者は当ファンドの運営に何ら関与するものではなく、当ファンドの運用成果に対して一切の責任を負うものではありません。

基準価額の主な変動要因(2022年11月15日から2023年5月12日まで)

当ファンドは、マザーファンドへの投資を通じて、日本を除く世界の主要国の上場株式の中から、配当利回りと配当成長力に注目した銘柄選択を行いました。外貨建資産については、対円で為替ヘッジを行っていません。

上昇要因

- 欧州のガス価格下落や中国のゼロコロナ政策の終了をきっかけに世界的な景気後退への懸念が後退したことから、株式市場が上昇したこと
- 1 - 3月期の決算発表にて市場予想を上回る内容が続き、業績見通しに楽観的な見方が広がったこと
- 保有する米国の医薬品大手やフランスの消費ブランド企業、ドイツのテレコムなどが良好な業績を背景に上昇したこと

下落要因

- 米国の地方銀行の破綻をきっかけにグローバルでリスクオフ(リスク回避)の展開が強まったこと
- 軟調な原油価格から保有するエネルギー銘柄が下落したこと

投資環境について(2022年11月15日から2023年5月12日まで)

世界の株式市場は上昇しました。為替市場では、円が米ドルに対し上昇し、ユーロに対して下落しました。

株式市場

グローバルの株式市場は上昇しました。

期初から年末にかけては、概ね想定通りの決算発表から上昇する局面があったものの、長期金利(10年国債利回り)が上昇に転じたことや半導体業界の業況に対する警戒感もあり、IT関連やネット関連銘柄を中心に株式市場は下落しました。年明けはインフレ減速による利上げ警戒感の後退、欧州のガス価格の下落や中国のゼロコロナ政策の終了によるグローバル景気に対する安心感から1月末まで上昇しました。その後、インフレ懸念が再燃したことや米国地方銀行の破綻を受けたグローバルの金融リスクの高まりを受け3月中旬まで軟調に推移しました。一方、各国金融当局が不安解消に向け、預金保護や資金供給などの対応策を迅速に打ち出したことや利上げ打ち止め前倒しの期待などから株価は上昇に転じました。期末にかけては、1-3月期の決算発表において景気減速の影響が懸念されたものの、全体では概ね事前予想に沿った内容となり横ばいで推移しました。

為替市場

●米ドル・円

米ドル・円は一進一退で推移し、米ドル安・円高となりました。日本銀行が大規模な金融緩和策を維持する姿勢を示す中、米長期金利の動向に左右されました。米長期金利は堅調な経済指標を背景に上昇する局面もありましたが、期を通じて見ると低下しています。また、3月以降、欧米での金融不安の高まりによるリスクセンチメント(投資家心理)の悪化を受け米ドル・円が下落する局面があったものの、期末にかけては金融不安の和らぎから米ドル・円は下落に転じています。

●ユーロ・円

ユーロ・円は、一進一退で推移しユーロ高・円安となりました。欧州域内のインフレ率が高水準で推移する中、タカ派(インフレ抑制を重視する立場)姿勢を継続するECB(欧州中央銀行)と大規模金融緩和策を続ける日本銀行の方向性の違いが意識されました。

ポートフォリオについて(2022年11月15日から2023年5月12日まで)

当ファンド

主要投資対象である「グローバル好配当株式マザーファンド」を、作成期を通じて高位に組み入れました。

グローバル好配当株式マザーファンド

配当利回りに注目しつつ、流動性や財務安定性にも留意した運用を行い、ポートフォリオ全体の配当利回りを一定水準以上に維持しました。

●株式組入比率

期中の株式組入比率は高位を維持しました。

●国別配分

個別銘柄の売買の結果ではありますが、米国を中心に北米の比率が下落する一方、フランスやオランダなどの買い越しから欧州の比率が上昇しました。期中の環太平洋地域の投資配分はほぼ変わらずとなっております。

●通貨別配分

個別銘柄の売買の結果ではありますが、米ドル、英ポンドの比率が低下した一方、ユーロなどの比率が上昇しています。

●個別銘柄

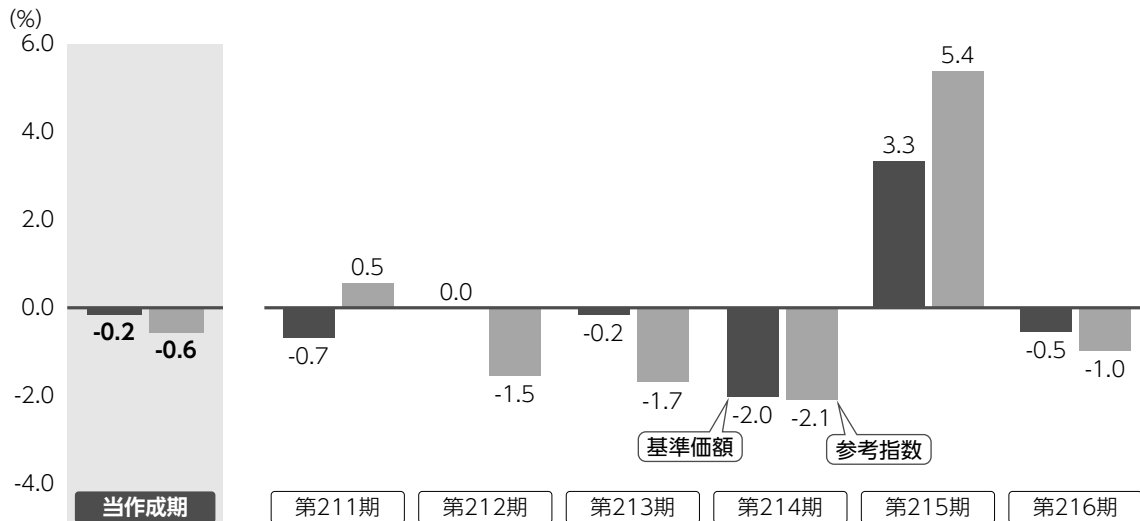
半導体メーカーが設備投資を削減する中、半導体市場が底入れに近づいているとの見立てから、大手半導体製造装置メーカーを新規に組み入れています。また、入退室管理システム・セキュリティ関連製品を製造、販売し、業界で強固な地位を築く資本財・サービス企業を魅力的な配当利回りと配当成長の観点から新規に組み入れました。一方、これまで堅調に推移してきた飲料大手を売却しています。これらに加え、景気を通じて安定的な業績と株主還元が期待できるドイツの大手通信サービス株や景気減速局面において消費の「低価格化」から恩恵を受ける米国ファストフード大手を買い増す一方、商品市況への感応度が幾分高い英国や豪州の素材関連や米国での銀行破綻を発端とした金融不安による業績下方修正リスクが大きいと判断した米国の大手銀行を一部売却しました。

ベンチマークとの差異について(2022年11月15日から2023年5月12日まで)

当ファンドは運用の指標となるベンチマークはありませんが、参考指数としてMSCIコクサイ高配当指数(配当込み、円換算ベース)を設けています。

記載のグラフは、基準価額と参考指数の騰落率の対比です。

基準価額と参考指数の騰落率対比



※当作成期の基準価額は分配金再投資ベース、各期は分配金(税引前)込み。

分配金について(2022年11月15日から2023年5月12日まで)

期間の1万口当たりの分配金(税引前)は、基準価額水準等を勘案し、以下の通りといたしました。なお、留保益につきましては、運用の基本方針に基づき運用いたします。

(単位：円、1万口当たり、税引前)

項目	第211期	第212期	第213期	第214期	第215期	第216期
当期分配金	350	15	15	50	15	15
(対基準価額比率)	(3.26%)	(0.14%)	(0.14%)	(0.49%)	(0.14%)	(0.15%)
当期の収益	17	3	—	15	15	15
当期の収益以外	332	11	15	34	—	—
翌期繰越分配対象額	3,596	3,585	3,570	3,536	3,541	3,542

※単位未満を切り捨てているため、「当期の収益」と「当期の収益以外」の合計が「当期分配金」と一致しない場合があります。
 ※「対基準価額比率」は、「当期分配金(税引前)」の期末基準価額(分配金(税引前)込み)に対する比率で、当ファンドの収益率とは異なります。

2 今後の運用方針

当ファンド

引き続き、運用の基本方針に従い、「グローバル好配当株式マザーファンド」への投資を通じて、世界各国の好配当株式へ分散投資することにより、安定した配当収入の確保と中長期的な値上がり益の獲得を目指して運用を行います。

グローバル好配当株式マザーファンド

先進国株式市場は年初から下値を切り上げる展開となっています。今後の金融政策に対する不透明感が低減する中、大手IT企業を中心に1-3月期の決算発表にて事前予想を

上回る内容が続いていることが背景にあります。つまり、業績悪化への過度な懸念が後退したことで、年後半からの企業業績の上方修正期待が株価を押し上げています。運用チームは、金融引き締めによる景気への影響は始まったばかりであり、景気全般に慎重な見方を維持すべきと考えます。破綻した米国の金融機関で見られたような急速な預金の流出は、銀行の貸出姿勢をより慎重にさせるきっかけとなり、景気減速とともに資金繰りに苦勞する事業会社が出現する可能性もあります。引き続きディフェンシブ(景気変動の影響を受けにくい)業種に軸足を置き、減配リスクを考慮した運用を行います。

当ファンドは、主に配当利回りに着目し、

財務の安定性や流動性を十分に考慮したうえで、世界各国の市場平均と比べて相対的に配当利回りの高い銘柄を中心に投資します。また、企業の収益動向や配当政策などに注目し、不透明な経済環境でも増配の継続が見込める企業へも投資します。引き続き、以下の3点を重視します。

- 1.「経営実績や経営陣などの「会社の質」と配当実績が優れていること」
- 2.「数年先までの成長持続性、売上やキャッシュフロー成長の確実度が高いこと」
- 3.「今後の資本政策、特に配当を含む株主還元のスタンスが明確なこと」

「好配当株」企業への投資は、足元の相対的な配当利回りが高いだけではなく、今後、長期にわたり増配が続くという、「配当の成長」が重要です。

優れた経営を実践している「質の高い」企業は配当政策など株主還元への姿勢も明確であり、投資家は定期的に配当収入を受け取りながら中長期の企業価値の成長(キャピタルゲイン)からも恩恵を受けることができます。

金融政策の「引き締め局面」では、株式市場の変動性は高くなりがちです。このような環境の下、安定的な値動きや配当収益という安心感を通じた「好配当株」投資が引き続き注目される展開を予想します。

3 お知らせ

約款変更について

該当事項はございません。

1万口当たりの費用明細(2022年11月15日から2023年5月12日まで)

項目	金額	比率	項目の概要
(a) 信託報酬	73円	0.699%	信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率×(経過日数／年日数) 期中の平均基準価額は10,386円です。
(投 信 会 社)	(34)	(0.323)	投信会社：ファンド運用の指図等の対価
(販 売 会 社)	(34)	(0.323)	販売会社：交付運用報告書等各種資料の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
(受 託 会 社)	(6)	(0.054)	受託会社：ファンド財産の保管および管理、投信会社からの指図の実行等の対価
(b) 売買委託手数料	2	0.020	売買委託手数料＝期中の売買委託手数料／期中の平均受益権口数
(株 式)	(2)	(0.020)	売買委託手数料：有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(先物・オプション)	(-)	(-)	
(投資信託証券)	(0)	(0.000)	
(c) 有価証券取引税	0	0.003	有価証券取引税＝期中の有価証券取引税／期中の平均受益権口数
(株 式)	(0)	(0.003)	有価証券取引税：有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(公 社 債)	(-)	(-)	
(投資信託証券)	(-)	(-)	
(d) その他費用	3	0.030	その他費用＝期中のその他費用／期中の平均受益権口数
(保 管 費 用)	(3)	(0.027)	保管費用：海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送付金・資産の移転等に要する費用
(監 査 費 用)	(0)	(0.003)	監査費用：監査法人に支払うファンドの監査費用
(そ の 他)	(0)	(0.000)	そ の 他：信託事務の処理等に要するその他費用
合 計	78	0.752	

※期中の費用(消費税のかかるものは消費税を含む)は、追加・解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出しています。

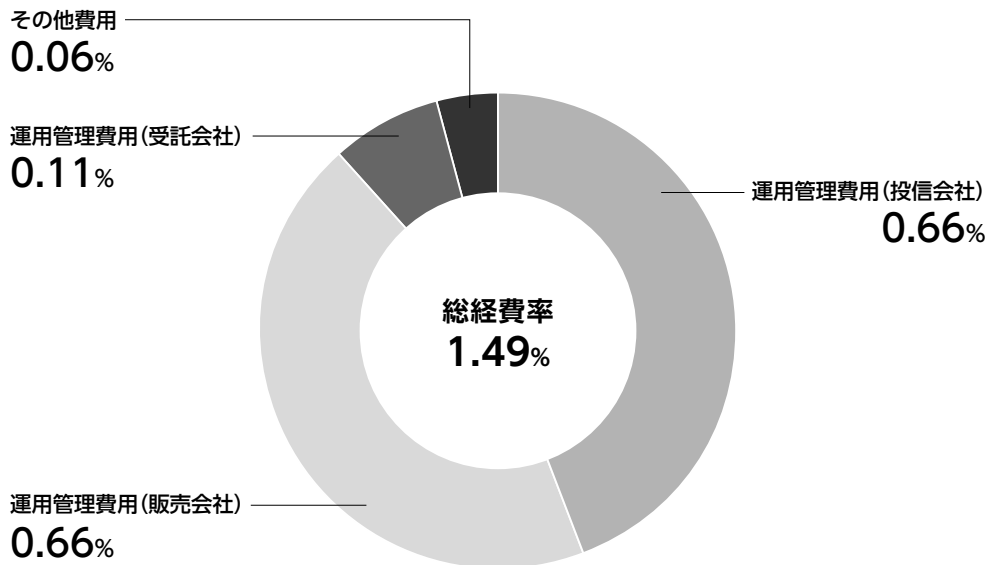
※比率欄は1万口当たりのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

※各項目毎に円未満は四捨五入しています。

※売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、当ファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含まず。



参考情報 総経費率(年率換算)



※各費用は、前掲「1万口当たりの費用明細」において用いた簡便法により算出したもので、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

※各比率は、年率換算した値(小数点以下第2位未満を四捨五入)です。

※上記の前提条件で算出しているため、「1万口当たりの費用明細」の各比率とは、値が異なる場合があります。なお、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

当作成期中の運用・管理にかかった費用の総額(原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。)を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額(1口当たり)を乗じた数で除した総経費率(年率換算)は1.49%です。

■ 当作成期中の売買及び取引の状況(2022年11月15日から2023年5月12日まで)

親投資信託受益証券の設定、解約状況

	当 作 成 期			
	設 定		解 約	
	口 数	金 額	口 数	金 額
グローバル好配当株式マザーファンド	千口 114,372	千円 506,297	千口 149,464	千円 661,099

■ 親投資信託の株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

(2022年11月15日から2023年5月12日まで)

項 目	当 作 成 期
	グローバル好配当株式マザーファンド
(a) 作成期中の株式売買金額	2,209,644千円
(b) 作成期中の平均組入株式時価総額	8,281,305千円
(c) 売買高比率 (a) / (b)	0.26

※(b)は各月末現在の組入株式時価総額の平均。

※外貨建資産については、(a)は各月末(ただし、決算日の属する月については決算日)の日本の対顧客電信売買相場の仲値で換算した邦貨金額の合計、(b)は各月末の同仲値で換算した邦貨金額合計の平均です。

■ 利害関係人との取引状況等(2022年11月15日から2023年5月12日まで)

当作成期中における利害関係人との取引等はありません。

※利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

■ 第一種金融商品取引業、第二種金融商品取引業又は商品取引受託業務を兼業している委託会社の自己取引状況

(2022年11月15日から2023年5月12日まで)

該当事項はございません。また委託会社に売買委託手数料は支払われておりません。

■ 組入れ資産の明細(2023年5月12日現在)

親投資信託残高

種 類	作成期首	作 成 期 末	
	口 数	口 数	評 価 額
グローバル好配当株式マザーファンド	千口 2,011,345	千口 1,976,253	千円 8,834,050

※グローバル好配当株式マザーファンドの作成期末の受益権総口数は1,976,253,526口です。

■ 投資信託財産の構成

(2023年5月12日現在)

項 目	作 成 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
グローバル好配当株式マザーファンド	8,834,050	99.8
コール・ローン等、その他	14,889	0.2
投資信託財産総額	8,848,940	100.0

※グローバル好配当株式マザーファンドにおいて、作成期末における外貨建資産(8,500,508千円)の投資信託財産総額(8,845,169千円)に対する比率は96.1%です。

※外貨建資産は、作成期末の時価を日本の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、作成期末における邦貨換算レートは、1アメリカ・ドル=134.63円、1カナダ・ドル=99.79円、1オーストラリア・ドル=90.23円、1香港・ドル=17.17円、1イギリス・ポンド=168.50円、1スイス・フラン=150.58円、1スウェーデン・クロナ=13.03円、1ユーロ=146.96円です。

■ 資産、負債、元本及び基準価額の状況

(2022年12月12日)(2023年1月12日)(2023年2月13日)(2023年3月13日)(2023年4月12日)(2023年5月12日)

項 目	第211期末	第212期末	第213期末	第214期末	第215期末	第216期末
(A) 資 産	8,836,876,926円	8,688,626,370円	8,741,247,203円	8,636,658,501円	8,924,931,500円	8,848,940,047円
コール・ローン等	1,320,248	3,177,063	1,987,353	817,213	184,310	3,770,091
グローバル好配当株式マザーファンド(評価額)	8,834,354,139	8,684,931,143	8,737,607,109	8,635,841,288	8,924,747,190	8,834,050,886
未 収 入 金	1,202,539	518,164	1,652,741	—	—	11,119,070
(B) 負 債	300,140,379	26,385,116	26,952,544	53,011,046	22,938,728	38,152,311
未払収益分配金	287,935,479	12,538,167	12,651,575	42,606,933	12,849,914	12,805,961
未払解約金	2,338,193	3,510,804	3,455,720	632,882	—	14,704,957
未払信託報酬	9,821,379	10,288,661	10,795,432	9,726,348	10,042,473	10,592,515
その他未払費用	45,328	47,484	49,817	44,883	46,341	48,878
(C) 純資産総額(A-B)	8,536,736,547	8,662,241,254	8,714,294,659	8,583,647,455	8,901,992,772	8,810,787,736
元 本	8,226,727,993	8,358,778,266	8,434,383,985	8,521,386,637	8,566,609,444	8,537,307,345
次期繰越損益金	310,008,554	303,462,988	279,910,674	62,260,818	335,383,328	273,480,391
(D) 受益権総口数	8,226,727,993口	8,358,778,266口	8,434,383,985口	8,521,386,637口	8,566,609,444口	8,537,307,345口
1万口当たり基準価額(C/D)	10,377円	10,363円	10,332円	10,073円	10,392円	10,320円

※当作成期における作成期首元本額8,256,685,805円、作成期中追加設定元本額661,398,284円、作成期中一部解約元本額380,776,744円です。
 ※上記表中の次期繰越損益金がマイナス表示の場合は、当該金額が投資信託財産の計算に関する規則第55条の6第10号に規定する額(元本の欠損)となります。

※上記表中の受益権総口数および1万口当たり基準価額が、投資信託財産の計算に関する規則第55条の6第7号および第11号に規定する受益権の総数および計算口数当たりの純資産の額となります。

■ 損益の状況

(自2022年11月15日 至2022年12月12日) (自2022年12月13日 至2023年1月12日) (自2023年1月13日 至2023年2月13日) (自2023年2月14日 至2023年3月13日) (自2023年3月14日 至2023年4月12日) (自2023年4月13日 至2023年5月12日)

項目	第211期	第212期	第213期	第214期	第215期	第216期
(A) 配当等収益	△ 155円	△ 171円	△ 43円	△ 41円	△ 20円	△ 105円
受取利息	—	3	2	—	3	—
支払利息	△ 155	△ 174	△ 45	△ 41	△ 23	△ 105
(B) 有価証券売買損益	△ 50,805,786	△ 13,254,391	△ 2,116,303	△ 171,491,912	△ 295,650,001	△ 38,081,780
売買益	131,113	14,304,770	382,096	1,083,394	296,197,649	483,749
売買損	△ 50,936,899	△ 1,050,379	△ 2,498,399	△ 172,575,306	△ 547,648	△ 38,565,529
(C) 信託報酬等	△ 9,866,707	△ 10,336,139	△ 10,845,247	△ 9,771,231	△ 10,088,813	△ 10,641,393
(D) 当期損益金(A+B+C)	△ 60,672,648	△ 2,918,081	△ 12,961,593	△ 181,263,184	△ 285,561,168	△ 48,723,278
(E) 前期繰越損益金	2,810,159,268	2,446,843,573	2,423,734,612	2,371,103,728	2,137,990,578	2,389,213,279
(F) 追加信託差損益金	△2,151,542,587	△2,133,760,499	△2,118,210,770	△2,084,972,793	△2,075,318,504	△2,054,203,649
(配当等相当額)	(422,096,891)	(484,962,519)	(526,272,614)	(585,682,448)	(612,499,635)	(624,065,309)
(売買損益相当額)	(△2,573,639,478)	(△2,618,723,018)	(△2,644,483,384)	(△2,670,655,241)	(△2,687,818,139)	(△2,678,268,958)
(G) 合計(D+E+F)	597,944,033	316,001,155	292,562,249	104,867,751	348,233,242	286,286,352
(H) 収益分配金	△ 287,935,479	△ 12,538,167	△ 12,651,575	△ 42,606,933	△ 12,849,914	△ 12,805,961
次期繰越損益金(G+H)	310,008,554	303,462,988	279,910,674	62,260,818	335,383,328	273,480,391
追加信託差損益金	△2,151,542,587	△2,133,760,499	△2,118,210,770	△2,084,972,793	△2,075,318,504	△2,054,203,649
(配当等相当額)	(422,153,987)	(485,115,746)	(526,320,544)	(585,931,451)	(612,625,686)	(624,141,914)
(売買損益相当額)	(△2,573,696,574)	(△2,618,876,245)	(△2,644,531,314)	(△2,670,904,244)	(△2,687,944,190)	(△2,678,345,563)
分配準備積立金	2,536,643,068	2,511,720,276	2,485,163,118	2,427,696,528	2,421,166,413	2,399,919,984
繰越損益金	△ 75,091,927	△ 74,496,789	△ 87,041,674	△ 280,462,917	△ 10,464,581	△ 72,235,944

※有価証券売買損益は各期末の評価換えによるものを含みます。

※株式投信の信託報酬等には消費税等相当額が含まれており、公社債投信には内訳の一部に消費税等相当額が含まれています。

※追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

※分配金の計算過程は以下の通りです。

	第211期	第212期	第213期	第214期	第215期	第216期
(a) 経費控除後の配当等収益	14,419,279円	2,776,282円	0円	13,149,017円	16,784,518円	13,142,378円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0	0	0	0	0	0
(c) 収益調整金	422,153,987	485,115,746	526,320,544	585,931,451	612,625,686	624,141,914
(d) 分配準備積立金	2,810,159,268	2,521,482,161	2,497,814,693	2,457,154,444	2,417,231,809	2,399,583,567
(e) 当期分配対象額(a+b+c+d)	3,246,732,534	3,009,374,189	3,024,135,237	3,056,234,912	3,046,642,013	3,036,867,859
1万口当たり当期分配対象額	3,946.57	3,600.26	3,585.48	3,586.55	3,556.42	3,557.17
(f) 分配金	287,935,479	12,538,167	12,651,575	42,606,933	12,849,914	12,805,961
1万口当たり分配金	350	15	15	50	15	15

■ 分配金のお知らせ

1万口当たり分配金(税引前)	第211期	第212期	第213期	第214期	第215期	第216期
	350円	15円	15円	50円	15円	15円

※分配金は、分配後の基準価額が個別元本と同額または上回る場合は全額「普通分配金」となり課税されます。分配後の基準価額が個別元本を下回る場合は下回る部分が「元本払戻金(特別分配金)」となり非課税、残りの部分が「普通分配金」となります。

上記のほか、投資信託財産の計算に関する規則第58条第1項各号に該当する事項はありません。

グローバル好配当株式マザーファンド

第36作成期（2022年11月15日から2023年5月12日まで）

信託期間	無期限（設定日：2005年5月31日）
運用方針	<ul style="list-style-type: none">・世界の主要国の上場株式の中から好配当銘柄に分散投資を行い、配当収入等による安定収益に加え、中長期的な信託財産の成長を狙います。・外貨建資産については、原則として対円での為替ヘッジを行いません。

グローバル好配当株式マザーファンド

原則として、各表の数量および金額の単位未満は切捨て、比率は四捨五入で表記しています。ただし、単位未満の数値については小数を表記する場合があります。

■ 最近30期の運用実績

決算期	基準価額		(参考指数) MSCIコクサイ高配当指数 (配当込み、円換算ベース)		株式組入 比率	投資信託 証券組入 比率	純資産額
	期中騰落率	期中騰落率	期中騰落率	期中騰落率			
	円	%		%	%	%	百万円
187期(2020年12月14日)	27,679	1.0	270.95	1.8	98.2	—	7,065
188期(2021年1月12日)	28,858	4.3	278.26	2.7	98.5	—	7,289
189期(2021年2月12日)	29,336	1.7	279.13	0.3	98.4	—	7,245
190期(2021年3月12日)	31,060	5.9	297.29	6.5	98.6	—	7,422
191期(2021年4月12日)	32,566	4.8	312.15	5.0	98.1	—	7,652
192期(2021年5月12日)	33,031	1.4	320.13	2.6	98.3	—	7,282
193期(2021年6月14日)	33,944	2.8	327.18	2.2	97.6	—	7,368
194期(2021年7月12日)	34,286	1.0	324.81	△ 0.7	97.9	—	7,358
195期(2021年8月12日)	35,485	3.5	330.40	1.7	98.8	—	7,544
196期(2021年9月13日)	34,987	△ 1.4	322.22	△ 2.5	98.1	—	7,348
197期(2021年10月12日)	35,360	1.1	327.31	1.6	97.8	—	7,337
198期(2021年11月12日)	37,694	6.6	340.92	4.2	97.7	—	7,678
199期(2021年12月13日)	37,899	0.5	337.88	△ 0.9	96.9	—	7,678
200期(2022年1月12日)	38,823	2.4	360.63	6.7	96.2	—	7,808
201期(2022年2月14日)	37,355	△ 3.8	354.14	△ 1.8	95.5	—	7,459
202期(2022年3月14日)	36,643	△ 1.9	345.38	△ 2.5	95.6	—	7,279
203期(2022年4月12日)	40,789	11.3	393.56	13.9	96.1	—	8,067
204期(2022年5月12日)	38,951	△ 4.5	381.42	△ 3.1	96.1	—	7,620
205期(2022年6月13日)	40,958	5.2	389.78	2.2	95.2	—	7,955
206期(2022年7月12日)	40,017	△ 2.3	387.93	△ 0.5	94.6	—	7,883
207期(2022年8月12日)	41,892	4.7	391.85	1.0	94.0	—	8,420
208期(2022年9月12日)	43,237	3.2	405.77	3.6	92.9	2.1	8,644
209期(2022年10月12日)	40,381	△ 6.6	376.63	△ 7.2	93.4	1.7	8,011
210期(2022年11月14日)	44,451	10.1	407.32	8.1	94.4	1.0	8,940
211期(2022年12月12日)	44,199	△ 0.6	409.55	0.5	91.0	0.9	8,834
212期(2023年1月12日)	44,261	0.1	403.24	△ 1.5	93.4	0.9	8,684
213期(2023年2月13日)	44,247	△ 0.0	396.42	△ 1.7	94.9	1.0	8,737
214期(2023年3月13日)	43,402	△ 1.9	388.18	△ 2.1	93.9	0.9	8,635
215期(2023年4月12日)	44,890	3.4	409.00	5.4	94.7	0.9	8,924
216期(2023年5月12日)	44,701	△ 0.4	405.02	△ 1.0	94.9	1.0	8,834

※株式組入比率には、新株予約権証券を含みます。

※参考指数は、当報告書作成時に知りえた情報をもとに当社が独自に計算し、2010年3月31日を100として、指数化しています。なお、基準価額の反映を考慮した日付の値を使用しています。

※指数の著作権、知的所有権、その他一切の権利は発行者、許諾者が有しています。これら発行者、許諾者は当ファンドの運営に何ら関与するものではなく、当ファンドの運用成果に対して一切の責任を負うものではありません。

※参考指数は市場の動きを示す目的で記載しており、当ファンドが当該参考指数を意識して運用しているわけではありません。

■ 当作成期中の基準価額と市況等の推移

決算期	年 月 日	基準 価 額		(参 考 指 数) MSCIコクサイ高配当指数 (配当込み、 円換算ベース)		株式組入 比 率	投資信託 証券組入 比 率
			騰 落 率		騰 落 率		
第211期	(期 首) 2022年11月14日	円	%		%	%	%
		44,451	—	407.32	—	94.4	1.0
	11月末	44,582	0.3	412.14	1.2	94.9	1.0
第212期	(期 末) 2022年12月12日	44,199	△0.6	409.55	0.5	91.0	0.9
	(期 首) 2022年12月12日	44,199	—	409.55	—	91.0	0.9
	12月末	43,039	△2.6	395.34	△3.5	93.6	0.9
第213期	(期 末) 2023年1月12日	44,261	0.1	403.24	△1.5	93.4	0.9
	(期 首) 2023年1月12日	44,261	—	403.24	—	93.4	0.9
	1月末	43,874	△0.9	395.21	△2.0	95.2	1.0
第214期	(期 末) 2023年2月13日	44,247	△0.0	396.42	△1.7	94.9	1.0
	(期 首) 2023年2月13日	44,247	—	396.42	—	94.9	1.0
	2月末	44,908	1.5	403.42	1.8	94.7	0.9
第215期	(期 末) 2023年3月13日	43,402	△1.9	388.18	△2.1	93.9	0.9
	(期 首) 2023年3月13日	43,402	—	388.18	—	93.9	0.9
	3月末	44,065	1.5	399.04	2.8	93.8	0.9
第216期	(期 末) 2023年4月12日	44,890	3.4	409.00	5.4	94.7	0.9
	(期 首) 2023年4月12日	44,890	—	409.00	—	94.7	0.9
	4月末	45,268	0.8	408.49	△0.1	94.9	0.9
	(期 末) 2023年5月12日	44,701	△0.4	405.02	△1.0	94.9	1.0

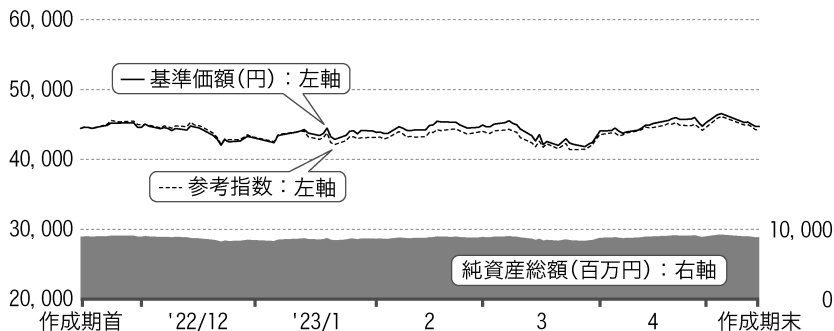
※騰落率は期首比です。

※株式組入比率には、新株予約権証券を含みます。

1 運用経過

▶ 基準価額等の推移について (2022年11月15日から2023年5月12日まで)

基準価額等の推移



作成期首	44,451円
作成期末	44,701円
騰落率	+0.6%

※参考指数は、作成期首の値が基準価額と同一となるように指数化しています。

※当ファンドの参考指数は、MSC I コクサイ高配当指数（配当込み、円換算ベース）です。

※指数の著作権、知的所有権、その他一切の権利は発行者、許諾者が有しています。これら発行者、許諾者は当ファンドの運営に何ら関与するものではなく、当ファンドの運用成果に対して一切の責任を負うものではありません。

▶ 基準価額の主な変動要因 (2022年11月15日から2023年5月12日まで)

当ファンドは、日本を除く世界の主要国の上場株式の中から、配当利回りと配当成長力に注目した銘柄選択を行いました。外貨建資産については、対円での為替ヘッジを行っていません。

上昇要因

- ・ 欧州のガス価格下落や中国のゼロコロナ政策の終了をきっかけに世界的な景気後退への懸念が後退したことから、株式市場が上昇したこと
- ・ 1 - 3月期の決算発表にて市場予想を上回る内容が続き、業績見通しに楽観的な見方が広がったこと
- ・ 保有する米国の医薬品大手やフランスの消費ブランド企業、ドイツのテレコムなどが良好な業績を背景に上昇したこと

下落要因

- ・ 米国の地方銀行の破綻をきっかけにグローバルでリスクオフ（リスク回避）の展開が強まったこと
- ・ 軟調な原油価格から保有するエネルギー銘柄が下落したこと

▶ 投資環境について (2022年11月15日から2023年5月12日まで)

世界の株式市場は上昇しました。為替市場では、円が米ドルに対し上昇し、ユーロに対して下落しました。

株式市場

グローバルの株式市場は上昇しました。

期初から年末にかけては、概ね想定通りの決算発表から上昇する局面があったものの、長期金利（10年国債利回り）が上昇に転じたことや半導体業界の業況に対する警戒感もあり、IT関連やネット関連銘柄を中心に株式市場は下落しました。年明けはインフレ減速による利上げ警戒感の後退、欧州のガス価格の下落や中国のゼロコロナ政策の終了によるグローバル景気に対する安心感から1月末まで上昇しました。その後、インフレ懸念が再燃したことや米国地方銀行の破綻を受けたグローバルの金融リスクの高まりを受け3月中旬まで軟調に推移しました。一方、各国金融当局が不安解消に向け、預金保護や資金供給などの対応策を迅速に打ち出したことや利上げ打ち止め前倒しの期待などから株価は上昇に転じました。期末にかけては、1-3月期の決算発表において景気減速の影響が懸念されたものの、全体では概ね事前予想に沿った内容となり横ばいで推移しました。

為替市場

●米ドル・円

米ドル・円は一進一退で推移し、米ドル安・円高となりました。日本銀行が大規模な金融緩和策を維持する姿勢を示す中、米長期金利の動向に左右されました。米長期金利は堅調な経済指標を背景に上昇する局面もありましたが、期を通じて見ると低下しています。また、3月以降、欧米での金融不安の高まりによるリスクセンチメント（投資家心理）の悪化を受け米ドル・円が下落する局面があったものの、期末にかけては金融不安の和らぎから米ドル・円は下落に転じています。

●ユーロ・円

ユーロ・円は、一進一退で推移しユーロ高・円安となりました。欧州域内のインフレ率が高水準で推移する中、タカ派（インフレ抑制を重視する立場）姿勢を継続するECB（欧州中央銀行）と大規模金融緩和策を続ける日本銀行の方向性の違いが意識されました。

▶ ポートフォリオについて (2022年11月15日から2023年5月12日まで)

配当利回りに注目しつつ、流動性や財務安定性にも留意した運用を行い、ポートフォリオ全体の配当利回りを一定水準以上に維持しました。

株式組入比率

期中の株式組入比率は高位を維持しました。

国別配分

個別銘柄の売買の結果ではありますが、米国を中心に北米の比率が下落する一方、フランスやオランダなどの買い越しから欧州の比率が上昇しました。期中の環太平洋地域の投資配分はほぼ変わらずとなっております。

通貨別配分

個別銘柄の売買の結果ではありますが、米ドル、英ポンドの比率が低下した一方、ユーロなどの比率が上昇しています。

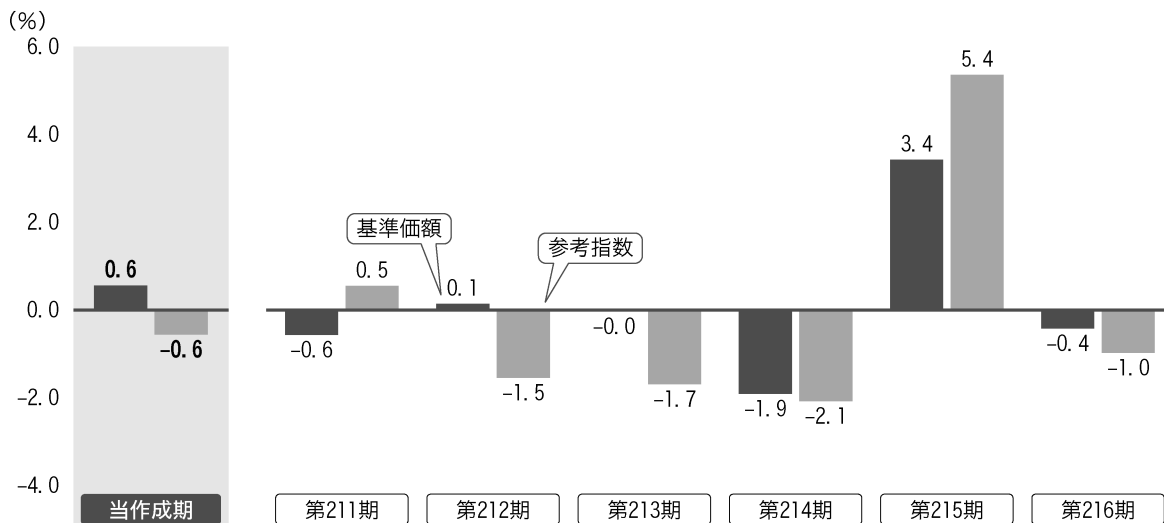
個別銘柄

半導体メーカーが設備投資を削減する中、半導体市場が底入れに近づいているとの見立てから、大手半導体製造装置メーカーを新規に組み入れています。また、入退室管理システム・セキュリティ関連製品を製造、販売し、業界で強固な地位を築く資本財・サービス企業を魅力的な配当利回りと配当成長の観点から新規に組み入れました。一方、これまで堅調に推移してきた飲料大手を売却しています。これらに加え、景気を通じて安定的な業績と株主還元が期待できるドイツの大手通信サービス株や景気減速局面において消費の「低価格化」から恩恵を受ける米国ファストフード大手を買い増す一方、商品市況への感応度が幾分高い英国や豪州の素材関連や米国での銀行破綻を発端とした金融不安による業績下方修正リスクが大きいと判断した米国の大手銀行を一部売却しました。

▶ ベンチマークとの差異について (2022年11月15日から2023年5月12日まで)

当ファンドは運用の指標となるベンチマークはありませんが、参考指数としてMSCIコクサイ高配当指数（配当込み、円換算ベース）を設けています。記載のグラフは、基準価額と参考指数の騰落率の対比です。

基準価額と参考指数の騰落率対比



2 今後の運用方針

先進国株式市場は年初から下値を切り上げる展開となっています。今後の金融政策に対する不透明感が低減する中、大手IT企業を中心に1-3月期の決算発表にて事前予想を上回る内容が続いていることが背景にあります。つまり、業績悪化への過度な懸念が後退したことで、年後半からの企業業績の上方修正期待が株価を押し上げています。運用チームは、金融引き締めによる景気への影響は始まったばかりであり、景気全般に慎重な見方を維持すべきと考えます。破綻した米国の金融機関で見られたような急速な預金の流出は、銀行の貸出姿勢をより慎重にさせるきっかけとなり、景気減速とともに資金繰りに苦勞する事業会社が出現する可能性もあります。引き続きディフェンシブ（景気変動の影響を受けにくい）業種に軸足を置き、減配リスクを考慮した運用を行います。

当ファンドは、主に配当利回りに着目し、財務の安定性や流動性を十分に考慮したうえで、世界各国の市場平均と比べて相対的に配当利回りの高い銘柄を中心に投資します。また、企業の収益動向や配当政策などに注目し、不透明な経済環境でも増配の継続が見込める企業へも投資します。引き続き、以下の3点を重視します。

1. 「経営実績や経営陣などの「会社の質」と配当実績が優れていること」
2. 「数年先までの成長持続性、売上やキャッシュフロー成長の確実度が高いこと」
3. 「今後の資本政策、特に配当を含む株主還元のアプローチが明確なこと」

「好配当株」企業への投資は、足元の相対的な配当利回りが高いたくだけではなく、今後、長期にわたり増配が続くという、「配当の成長」が重要です。

優れた経営を実践している「質の高い」企業は配当政策など株主還元への姿勢も明確であり、投資家は定期的に配当収入を受け取りながら中長期の企業価値の成長（キャピタルゲイン）からも恩恵を受けることができます。

金融政策の「引き締め局面」では、株式市場の変動性は高くなりがちです。このような環境の下、安定的な値動きや配当収益という安心感を通じた「好配当株」投資が引き続き注目される展開を予想します。

グローバル好配当株式マザーファンド

■ 1万口当たりの費用明細(2022年11月15日から2023年5月12日まで)

項目	金額	比率	項目の概要
(a) 売買委託手数料 (株式) (投資信託証券)	9円 (9) (0)	0.020% (0.020) (0.000)	売買委託手数料＝期中の売買委託手数料／期中の平均受益権口数 売買委託手数料：有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(b) 有価証券取引税 (株式)	1 (1)	0.003 (0.003)	有価証券取引税＝期中の有価証券取引税／期中の平均受益権口数 有価証券取引税：有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(c) その他費用 (保管費用) (その他)	12 (12) (0)	0.027 (0.027) (0.000)	その他費用＝期中のその他費用／期中の平均受益権口数 保管費用：海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送付金・資産の移転等に要する費用 その他：信託事務の処理等に要するその他費用
合計	22	0.050	

期中の平均基準価額は44,270円です。

※期中の費用(消費税のかかるものは消費税を含む)は、追加・解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出しています。

※比率欄は1万口当たりのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

※各項目毎に円未満は四捨五入しています。

■ 当作成期中の売買及び取引の状況(2022年11月15日から2023年5月12日まで)

(1) 株式

		当 作 成 期			
		買 付		売 付	
		株 数	金 額	株 数	金 額
外	ア メ リ カ	百株 238.71	千アメリカ・ドル 3,231	百株 633.46	千アメリカ・ドル 6,313
	オ ー ス ト ラ リ ア	百株 —	千オーストラリア・ドル —	百株 70	千オーストラリア・ドル 314
	香 港	百株 700	千香港・ドル 5,335	百株 —	千香港・ドル —
	イ ギ リ ス	百株 —	千イギリス・ポンド —	百株 291.51	千イギリス・ポンド 899
	ス イ ス	百株 10.5	千スイス・フラン 491	百株 0.4	千スイス・フラン 34
	ス ウ ェ ー デ ン	百株 210	千スウェーデン・クローナ 5,333	百株 —	千スウェーデン・クローナ —
国	ユ ー ロ	百株	千ユーロ	百株	千ユーロ
	オ ラ ン ダ	341	1,595	—	—

グローバル好配当株式マザーファンド

		当 作 成 期			
		買 付		売 付	
		株 数	金 額	株 数	金 額
外	フ ラ ン ス	10	218	21.75	396
	ド イ ツ	100 (-)	189 (△81)	-	-
国	オ ー ス ト リ ア	230 (-)	1,212 (△85)	-	-

※金額は受渡し代金。

※()内は株式分割、予約権行使、合併等による増減分で、上段の数字には含まれておりません。

(2)投資信託証券

			当 作 成 期			
			買 付		売 付	
			口 数	買 付 額	口 数	売 付 額
外国	オーストラリア	GOODMAN GROUP	口 -	千オーストラリア・ドル -	口 2,984	千オーストラリア・ドル 54

※金額は受渡し代金。

※銘柄コードの変更等、管理上の都合により同一銘柄であっても別銘柄として記載されている場合があります。

■ 株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

(2022年11月15日から2023年5月12日まで)

項 目	当 作 成 期
(a) 作成期中の株式売買金額	2,209,644千円
(b) 作成期中の平均組入株式時価総額	8,281,305千円
(c) 売買高比率 (a) / (b)	0.26

※(b)は各月末現在の組入株式時価総額の平均。

※外貨建資産については、(a)は各月末(ただし、決算日の属する月については決算日)の日本の対顧客電信売買相場の仲値で換算した邦貨金額の合計、(b)は各月末の同仲値で換算した邦貨金額合計の平均です。

■ 利害関係人との取引状況等(2022年11月15日から2023年5月12日まで)

当作成期中における利害関係人との取引等はありません。

※利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

■ 第一種金融商品取引業、第二種金融商品取引業又は商品取引受託業務を兼業している委託会社の自己取引状況

(2022年11月15日から2023年5月12日まで)

該当事項はございません。また委託会社に売買委託手数料は支払われておりません。

グローバル好配当株式マザーファンド

■ 組入れ資産の明細 (2023年5月12日現在)

(1) 外国株式

銘柄	作成期首		作成期末		業種等	
	株数	株数	評価額			
			外貨建金額	邦貨換算金額		
(アメリカ)	百株	百株	千アメリカ・ドル	千円		
JPMORGAN CHASE & CO	95	92.21	1,254	168,895	銀行	
BROADCOM INC	26.74	28.74	1,803	242,862	半導体・半導体製造装置	
COCA-COLA CO/THE	253.14	—	—	—	食品・飲料・タバコ	
EXXON MOBIL CORP	310.53	271.7	2,874	386,968	エネルギー	
AMERICAN WATER WORKS CO INC	88.66	86.28	1,289	173,564	公益事業	
NEXTERA ENERGY INC	230.57	226.25	1,721	231,800	公益事業	
HOME DEPOT INC	76.31	49.31	1,418	190,986	一般消費財・サービス流通・小売り	
ELI LILLY & CO	37.2	19.69	857	115,458	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス	
BOOZ ALLEN HAMILTON HOLDINGS	158	184.19	1,696	228,459	商業・専門サービス	
MCDONALD'S CORP	44.79	69.74	2,055	276,781	消費者サービス	
MERCK & CO. INC.	263.52	261.81	3,077	414,334	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス	
ARES MANAGEMENT CORP - A	—	155	1,263	170,050	金融サービス	
PROCTER & GAMBLE CO/THE	46.28	28.82	444	59,903	家庭用品・パーソナル用品	
PEPSICO INC	76	87.56	1,710	230,270	食品・飲料・タバコ	
CHEVRON CORP	190.27	159.94	2,498	336,384	エネルギー	
TEXAS INSTRUMENTS INC	101.58	99.46	1,602	215,811	半導体・半導体製造装置	
UNITEDHEALTH GROUP INC	37.82	30.14	1,473	198,326	ヘルスケア機器・サービス	
PNC FINANCIAL SERVICES GROUP	86.2	80.2	903	121,685	銀行	
BANK OF AMERICA CORP	310	112.15	307	41,355	銀行	
ANALOG DEVICES INC	87.78	87.78	1,585	213,418	半導体・半導体製造装置	
AVERY DENNISON CORP	70	68.08	1,173	157,932	素材	
MICROSOFT CORP	27.65	24.24	751	101,202	ソフトウェア・サービス	
小計	株数・金額 銘柄数 < 比率 >	2,618.04 21	2,223.29 21	31,764 —	4,276,452 <48.4%>	
(オーストラリア)	百株	百株	千オーストラリア・ドル	千円		
BHP GROUP LTD	442.13	372.13	1,637	147,740	素材	
小計	株数・金額 銘柄数 < 比率 >	442.13 1	372.13 1	1,637 —	147,740 <1.7%>	
(香港)	百株	百株	千香港・ドル	千円		
AIA GROUP LTD	1,350	2,050	16,594	284,931	保険	
BOC AVIATION LTD	500	500	3,035	52,110	資本財	
小計	株数・金額 銘柄数 < 比率 >	1,850 2	2,550 2	19,629 —	337,042 <3.8%>	
(イギリス)	百株	百株	千イギリス・ポンド	千円		
ASHTED GROUP PLC	180	180	840	141,641	資本財	
ASTRAZENECA PLC	124.5	121.81	1,452	244,739	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス	
BRITISH AMERICAN TOBACCO PLC	447.77	258.95	706	119,009	食品・飲料・タバコ	
ANGLO AMERICAN PLC	345.66	245.66	576	97,171	素材	
小計	株数・金額 銘柄数 < 比率 >	1,097.93 4	806.42 4	3,576 —	602,561 <6.8%>	

グローバル好配当株式マザーファンド

銘柄		作成期首		作成期末		業種等
		株数	株数	評価額		
				外貨建金額	邦貨換算金額	
(スイス) PARTNERS GROUP HOLDING AG SIKA AG-REG		百株 7.6 64	百株 10.7 71	千スイス・フラン 906 1,780	千円 136,469 268,134	金融サービス 素材
小計	株数・金額 銘柄数<比率>	71.6 2	81.7 2	2,686 -	404,603 <4.6%>	
(スウェーデン) ASSA ABLOY AB-B		百株 -	百株 210	千スウェーデン・クローナ 5,157	千円 67,203	資本財
小計	株数・金額 銘柄数<比率>	- -	210 1	5,157 -	67,203 <0.8%>	
(ユーロ・・・オランダ) ING GROEP NV ASML HOLDING NV		百株 471.3 -	百株 791.3 21	千ユーロ 909 1,245	千円 133,709 183,101	銀行 半導体・半導体製造装置
小計	株数・金額 銘柄数<比率>	471.3 1	812.3 2	2,155 -	316,811 <3.6%>	
(ユーロ・・・フランス) TOTALENERGIES SE TELEPERFORMANCE AIR LIQUIDE SA SCHNEIDER ELECTRIC SE L'OREAL LVMH MOET HENNESSY LOUIS VUI		百株 381.17 46.58 95 135.7 46 34.11	百株 365.96 56.58 95 133.16 46 30.11	千ユーロ 2,008 872 1,545 2,092 1,949 2,672	千円 295,098 128,175 227,176 307,471 286,427 392,759	エネルギー 商業・専門サービス 素材 資本財 家庭用品・パーソナル用品 耐久消費財・アパレル
小計	株数・金額 銘柄数<比率>	738.56 6	726.81 6	11,139 -	1,637,110 <18.5%>	
(ユーロ・・・ドイツ) DEUTSCHE TELEKOM AG-REG		百株 1,070	百株 1,170	千ユーロ 2,520	千円 370,365	電気通信サービス
小計	株数・金額 銘柄数<比率>	1,070 1	1,170 1	2,520 -	370,365 <4.2%>	
(ユーロ・・・スペイン) IBERDROLA SA		百株 500	百株 500	千ユーロ 588	千円 86,485	公益事業
小計	株数・金額 銘柄数<比率>	500 1	500 1	588 -	86,485 <1.0%>	
(ユーロ・・・オーストリア) BAWAG GROUP AG		百株 -	百株 230	千ユーロ 938	千円 137,974	銀行
小計	株数・金額 銘柄数<比率>	- -	230 1	938 -	137,974 <1.6%>	
ユーロ通貨計	株数・金額 銘柄数<比率>	2,779.86 9	3,439.11 11	17,343 -	2,548,748 <28.9%>	
合計	株数・金額 銘柄数<比率>	8,859.56 39	9,682.65 42	- -	8,384,353 <94.9%>	

※邦貨換算金額は、作成期末の時価を日本の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

※<>内は、純資産総額に対する各国別株式評価額の比率。

※銘柄コードの変更等、管理上の都合により同一銘柄であっても別銘柄として記載されている場合があります。

グローバル好配当株式マザーファンド

(2) 外国投資信託証券

銘柄		作成期首		作成期末		組入比率
		口数	口数	評価額		
				外貨建金額	邦貨換算金額	
(オーストラリア) GOODMAN GROUP		口 50,000	口 47,016	千オーストラリア・ドル 938	千円 84,717	% 1.0
小計	口数・金額	50,000	47,016	938	84,717	
	銘柄数<比率>	1	1	—	<1.0%>	
合計	口数・金額	50,000	47,016	—	84,717	
	銘柄数<比率>	1	1	—	<1.0%>	

※邦貨換算金額は、作成期末の時価を日本の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

※<>内は、純資産総額に対する評価額の比率。

※銘柄コードの変更等、管理上の都合により同一銘柄であっても別銘柄として記載されている場合があります。

■ 投資信託財産の構成

(2023年5月12日現在)

項目	作成期末	
	評価額	比率
株式	千円 8,384,353	% 94.8
投資証券	84,717	1.0
コール・ローン等、その他	376,097	4.3
投資信託財産総額	8,845,169	100.0

※作成期末における外貨建資産(8,500,508千円)の投資信託財産総額(8,845,169千円)に対する比率は96.1%です。

※外貨建資産は、作成期末の時価を日本の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、作成期末における邦貨換算レートは、1アメリカ・ドル=134.63円、1カナダ・ドル=99.79円、1オーストラリア・ドル=90.23円、1香港・ドル=17.17円、1イギリス・ポンド=168.50円、1スイス・フラン=150.58円、1スウェーデン・クローナ=13.03円、1ユーロ=146.96円です。

グローバル好配当株式マザーファンド

■ 資産、負債、元本及び基準価額の状況

(2022年12月12日) (2023年1月12日) (2023年2月13日) (2023年3月13日) (2023年4月12日) (2023年5月12日)

項目	第211期末	第212期末	第213期末	第214期末	第215期末	第216期末
(A) 資産	8,835,591,086円	8,685,487,021円	8,739,236,195円	8,635,907,773円	9,050,053,783円	8,845,169,167円
コール・ローン等	534,394,639	487,254,992	354,871,072	427,775,164	465,494,748	367,544,217
株式(評価額)	8,036,970,859	8,111,034,628	8,295,305,880	8,106,081,565	8,450,477,833	8,384,353,460
投資証券(評価額)	78,961,886	78,716,726	84,683,658	80,603,177	80,161,866	84,717,806
未収入金	164,152,177	—	—	—	45,519,156	—
未収配当金	21,111,525	8,480,675	4,375,585	21,447,867	8,400,180	8,553,684
(B) 負債	1,205,134	520,669	1,654,282	1,451	125,350,278	11,120,163
未払金	—	—	—	—	125,348,867	—
未払解約金	1,202,539	518,164	1,652,741	—	—	11,119,070
その他未払費用	2,595	2,505	1,541	1,451	1,411	1,093
(C) 純資産総額(A-B)	8,834,385,952	8,684,966,352	8,737,581,913	8,635,906,322	8,924,703,505	8,834,049,004
元本	1,998,767,877	1,962,208,523	1,974,734,357	1,989,733,489	1,988,137,044	1,976,253,526
次期繰越損益金	6,835,618,075	6,722,757,829	6,762,847,556	6,646,172,833	6,936,566,461	6,857,795,478
(D) 受益権総口数	1,998,767,877口	1,962,208,523口	1,974,734,357口	1,989,733,489口	1,988,137,044口	1,976,253,526口
1万口当たり基準価額(C/D)	44,199円	44,261円	44,247円	43,402円	44,890円	44,701円

※当作成期における作成期首元本額2,011,345,784円、作成期中追加設定元本額114,372,648円、作成期中一部解約元本額149,464,906円です。
 ※上記表中の次期繰越損益金がマイナス表示の場合は、当該金額が投資信託財産の計算に関する規則第55条の6第10号に規定する額(元本の欠損)となります。

※作成期末における元本の内訳は、三井住友・グローバル好配当株式オープン1,976,253,526円です。

※上記表中の受益権総口数および1万口当たり基準価額が、投資信託財産の計算に関する規則第55条の6第7号および第11号に規定する受益権の総数および計算口数当たりの純資産の額となります。

■ 損益の状況

(自2022年11月15日 至2022年12月12日) (自2022年12月13日 至2023年1月12日) (自2023年1月13日 至2023年2月13日) (自2023年2月14日 至2023年3月13日) (自2023年3月14日 至2023年4月12日) (自2023年4月13日 至2023年5月12日)

項目	第211期	第212期	第213期	第214期	第215期	第216期
(A) 配当等収益	24,152,180円	12,603,625円	6,485,192円	22,753,225円	17,456,683円	23,720,677円
受取配当金	24,160,176	12,609,999	6,474,448	22,740,172	17,447,600	23,712,792
受取利息	14,834	16,796	18,463	18,287	16,962	20,331
支払利息	△ 22,830	△ 23,170	△ 7,719	△ 5,234	△ 7,879	△ 12,446
(B) 有価証券売買損益	74,395,322	162,298	8,123,646	△ 192,243,781	278,614,796	△ 60,707,474
売買益	△ 264,397,460	291,866,407	182,940,218	219,651,182	454,589,966	232,492,134
売買損	△ 338,792,782	△ 291,704,109	△ 191,063,864	△ 411,894,963	△ 175,975,170	△ 293,199,608
(C) その他費用等	△ 260,943	△ 379,025	△ 880,554	△ 992	△ 450,039	△ 378,586
(D) 当期損益金(A+B+C)	△ 50,504,085	12,386,898	△ 2,519,008	△ 169,491,548	295,621,440	△ 37,365,383
(E) 前期繰越損益金	6,929,377,273	6,835,618,075	6,722,757,829	6,762,847,556	6,646,172,833	6,936,566,461
(F) 解約差損益金	△ 59,643,996	△ 238,117,882	△ 32,567,961	△ 67,815,328	△ 55,340,934	△ 58,148,499
(G) 追加信託差損益金	16,388,883	112,870,738	75,176,696	120,632,153	50,113,122	16,742,899
(H) 合計(D+E+F+G)	6,835,618,075	6,722,757,829	6,762,847,556	6,646,172,833	6,936,566,461	6,857,795,478
次期繰越損益金(H)	6,835,618,075	6,722,757,829	6,762,847,556	6,646,172,833	6,936,566,461	6,857,795,478

※有価証券売買損益は各期末の評価換えによるものを含みます。

※追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

※解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。

■ お知らせ

<約款変更について>

該当事項はございません。